

コード	VI-17-37	施策名	公共交通の利便性の向上
まちづくりの目標	社会基盤が整い、行動力ある市民が暮らすまち(社会基盤)	施策の方針	交通基盤を整える
5年後のめざす姿	高齢者の生活支援としての外出機会と安全な移動手段の確保のため、公共交通機関の利用を促進します。「地域の交通は地域住民が主体となって守る」ルールを設定するとともに、公共交通に対する市民のニーズを的確にとらえ、地域の実情に合った路線の見直しなどにより新しい交通網の構築をめざします。		
施策の課題	少子高齢化の進展により、自動車運転免許返納者数の増加が予想されるとともに、バス、タクシーの運転手不足も顕在化しています。バス、タクシー等既存の公共交通手段やその他の輸送手段を駆使して、いかに市民の移動手段を確保していくことができるかが大きな課題となっています。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画>

新規指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	コミュニティバスの年間乗車人数	臼杵市コミュニティバス運行実績	目標	人	12,000	12,000	10,500	10,500	10,500	10,500
			実績		12,386	9,711	9,654	9,983	12,456	13,673
			達成率	%		80.9%	80.5%	95.1%	118.6%	130.2%
	コミュニティバス1便あたりの乗車人数	利用者数÷運行便数/臼杵市コミュニティバス運行実績	目標	人	2.7	2.7	2.4	2.4	2.4	2.4
			実績		2.80	2.15	2.14	2.18	2.44	2.40
			達成率	%		79.6%	79.3%	90.8%	101.7%	100.0%
	臼三線1便あたりの乗車人数	利用者数÷運行便数/臼津交通(株)調査	目標	人	6.2	6.2	5.5	5.5	5.5	5.5
			実績		6.1	6.1	4.5	4.1	5.3	6.3
			達成率	%		80.6%	69.4%	78.9%	96.4%	114.5%
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の進捗状況	順調	指標の分析	3項目とも目標を上回りました。R5年10月から市内循環線の土日運行を開始しており、令和6年度は通年で運行したため乗車人数が増加しています。臼三線も通学需要等で安定的な1便あたりの乗車人数を確保できています。しかし、いくつかのバス路線では空気を運ぶだけの便が生じているため、公共交通に対する市民のニーズを的確にとらえ、地域の実情に合った交通手段の検討を行う必要があります。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	
強化領域	2.64	1.68	
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度 87.41%	
過去の調査結果(領域)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	強化領域	強化領域	強化領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	地域公共交通対策事業	コミュニティバス9路線や地域住民の生活や学生の通学に不可欠な民間バス路線(白三線)維持のための財政支援	秘書・総合政策課	44,869	51,188	有	やや遅延	強化	貢献度大	
2	高校生バス通学用定期券購入助成事業	市内高校に通う子どもたちのバス通学定期券購入補助(1ヶ月につき1万円控除した額)	秘書・総合政策課	5,300	2,992	有	概ね順調	完了	貢献度大	
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
合計				50,169	54,180	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化 .. 現状より強化を図る
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討 .. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	高齢者等の日常生活の維持に向けた公共交通の役割は益々重要性を増しています。しかしながら利用者の減少や運転手の確保の問題等から交通事業者も厳しい経営を迫られており、引き続き支援が必要とされています。交通資源の有効活用等、効果的、効率的な路線の選定や運用体制の見直しが必要であり、関係機関と連携して継続して取組みを強化する必要があります。